

学習目標

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることと自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

	単元・題材名	学習の内容
4月	1 日本の歴史 (1) 縄文のむらから古墳のくにへ	・狩猟・採集や農耕の生活、古墳とそれにかかわる人々の働きや、代表的な文化遺産などを通して、農耕の始まりによって、それまでの生活や社会が大きく変化し、各地に大きな力をもつ豪族が出現したことも、やがて大和朝廷によって国土が統一されたことが分かるとともに、神話や伝承に見られるくにの形成に関する考え方に関心をもつ。
5月	(2) 天皇中心の国づくり	・聖徳太子の行った国づくり、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営にかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、天皇中心の政治が確立されていった過程が分かるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考える。
6月	(3) 貴族のくらし	・貴族の生活や代表的な文化遺産を通して、貴族が権力をもっていた時代、日本風の文化がおこったことが分かり、代表的な文化遺産の意味を考える。
7月	(4) 武士の世の中へ	・武士のくらし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いとそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、武士による政治が始まったことが分かるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味について考える。
	(5) 今に伝わる室町文化	・京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画、芸能などと、それらにかかわる人物の働きを通して、今日に生活文化に直結する要素をもつ室町文化が武士や民衆の中から生まれ、今も多くの日飛びに親しまれていることが分かるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考える。
9月	(6) 3人の武将と天下統一	・キリスト教の伝来、天下統一、江戸幕府の始まりと、それらにかかわる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の働きや代表的な文化遺産を通して、戦国の世が統一されたことがわかるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考える。
10月	(7) 江戸幕府と政治の安定	・参勤交代や農民統制、鎖国などにかかわる徳川家光の働きや代表的な文化遺産を通して、身分制度が確立して武士による政治が安定したことが分かる。また、それらにかかわる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考える。
	(8) 町人の文化と新しい学問	・歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して、社会が安定するにつれて町人の文化が栄え、新しい学問がおこったこと、新しい学問が次の時代への動きに影響を与えたことが分かる。また、それらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味を考える。
	(9) 明治の国づくりを進めた人々	・黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、明治政府が廃藩置県や四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を行ったことを通して、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考える。
11月	(10) 世界に歩みだした日本	・日清・日露戦争、条約改正、科学の発展やそれらにかかわる人物の働きを理解し、我が国の国力が充実に、国際的地位が向上したことや、それらによって人々の生活や社会が変化したことが分かるとともに、それらにかかわる人物の願いや働きを考える。
	(11) 長く続いた戦争と人々のくらし	・日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産を通して、強化された戦時体制や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことが分かるとともに、それらにかかわる代表的な文化遺産の意味を考える。
12月	(12) 新しい日本、平和な日本へ	・日本国憲法の制定、オリンピックの開催など我が国の戦後の歩みを調べることを通して、戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中での重要な役割を果たしてきたことが分かるとともに、平和で民主的な国家の一員として、これから日本の課題やよりよい発展について考える。
1月	2 わたしたちの生活と政治 (1) 子育て支援の願いを実現する政治	・地方公共団体の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることが分かるとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考える。

2 月	<p>(1) 震災復興の願いを實現する政治 【どちらかを選択】</p> <p>(2) 国の政治のしくみ</p> <p>(3) わたしたちの暮らしと日本国憲法</p> <p>3 わたしたちの生活と政治</p> <p>(1) 日本とつながりの深い国々</p>	<p>・地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していることを、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考える。</p> <p>・日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関連に関心を持ち、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考える。</p>
3 月	<p>(2) 世界の未来と日本の役割</p>	<p>・我が国と経済や文化などの面でのつながりの深い国について、人々の生活の様子に関心をもって調べ、外国の人々とともに生きていくためには、異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを理解するとともに、異なる文化や習慣を尊重しようとする。</p> <p>・我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きについて、具体的事例を通して意欲的に調べ、世界の平和の大切さと、我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解するとともに、世界平和や我が国の役割の大切さを考える。</p>

評価の観点

【社会的事象への関心・意欲・態度】

我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心を持ち、それを意欲的に調べ、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることの自覚をもとうとする。

【社会的な思考・判断・表現】

我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象から学習の問題を見いだして追究し、社会的事象の意味についてより広い視野から思考・判断したことを適切に表現している。

【観察・資料活用の技能】

我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。

【社会的事象についての知識・理解】

国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。

評価の方法

テスト 発言内容 ノート ワークシート 学習の準備 活動の様子